

# 令和5年度のモデル校の実践を紹介します。

松原中学校  
3年生

## 「松原ローカル学習」 松原ファームの開墾と 松原だいこん（春大根）栽培

「松原だいこんを栽培し  
おいしさを伝えよう」  
地域の人々や専門家の協力の  
のもと、土作りやうね作りを  
行い、大根栽培に取り組んだ。  
収穫した大根は、学校給食の  
食材として提供したり、市民に  
販売したりして、草津の農産物  
のおいしさを伝えた。



行動する  
発信する

提案する

気づく・知る

調べる

まとめる

「草津の農産物  
ベジクサについて知ろう」  
地域の生産者からベジクサ  
栽培にかける思いや苦労  
について聞いた。

「ベジクサについて調べよう」  
ベジクサのよさについて  
調べる学習を行い、その魅力  
を伝えるポスター制作  
を行った。

「ベジクサについて  
調べたことを  
伝えよう」  
ベジクサ学習  
発表会を開き、  
地域の方々に、  
ベジクサの魅力  
を伝えた。



「畑を作り、野菜栽培をはじめよう」  
校地内の未使用の土地に「松原  
ファーム」を開墾した。



- 野菜の栽培を通して、自分たちの地域の素晴らしさを再発見することとなり「地元愛」の醸成につながりました。
- 人と人とのつながりの大切さに気づき、そのつながりに感謝することもできました。これらは今後の人格形成における自己のアイデンティティ確立の糧となりました。

老上小学校  
4年生

## みんなでつながり 安心安全！老上防災大作戦！！



「防災フェスを開こう」  
地域の人々に  
防災グッズ等の  
体験を交えながら、  
防災に関する知識や  
思いを伝えた。

「地域の人の  
防災意識を高める  
イベントを開催しよう」  
どのようなイベントに  
するかを話し合い、  
準備を進めた。

行動する  
発信する

提案する



気づく・知る

調べる

まとめる

「災害を自分事にする  
ための  
体験活動しよう」  
起震車体験、備蓄倉庫の  
見学、地震の被災地との  
オンライン交流をした。

「地域の人々の  
防災意識を調べよう」  
地域住民を対象に  
防災についてアンケート  
調査を行った。地域の  
防災に対する意識を  
高めようと考えた。

「防災に必要な知恵と  
技を身につけよう  
～地域の方、専門家  
との連携学習～」

防災マップの読み取り、  
避難所設営・生活体験、  
地域の避難所の調査など  
を行った。緊急持ち出し袋に  
入れるものを検討した。



- 災害に備え、予め準備をしておくことや、地域の住民同士のつながりの大切さに気づき、そのことを「地域の人に発信したい」という願いを抱き、学習を進めていきました。
- この学びを通して、地域の人々の防災意識の高まりや、つながりづくりに貢献できたという達成感を味わい、自己有用感を高めることができました。

常盤小学校  
5年生

常盤のお米をおいしく食べたい!



● 未来の地域農業を持続可能なものとしていくために、米余りの現状を何とかしようと、米のレシピを考え、地域の人々に発信しました。  
● 地域の思いを知り、みんなで話し合い課題解決のための方策を見つけ行動することで、探究性や協働性、社会性を高めることができました。

**取組** ESDマネジメント会議を開催し、学校間の情報共有を図ります。



**目的** ESDマネジメントリーダーを校内分掌に位置付け、ESDの実践の充実を図ります。ESDマネジメント会議を年間5回開催し、リーダーの研修と学校間の情報共有の機会をつくります。

**取組** 市教委にESD担当を配置し、各校のESDの実践を伴走支援します。

**目的** 市教委にESD担当者1名とESDアドバイザー3名を任用し、各校のESD実践が充実した取組となるように支援します。さらに、全小中学校に地域コーディネーターを配置して、学校と地域を結び、充実した地域学習を展開していきます。

R6  
スクール  
ESD

**取組** 子どもたちが学習した内容を交流する『ESDフェスタ』を開催します。



**目的** 次代を担う子どもたちが、日頃の学習の成果を交流するとともに、草津の未来について考える機会とし、誰もが住みやすいまちへつながるよう機運の醸成を図ります。

**取組** 『立命館大学キャンパス体験』を通してキャリア教育の充実を図ります。

**目的** 中学1年生が立命館大学へ行き、キャンパス体験をします。SDGsについての学びを深めるとともに、将来の夢や希望をもった生徒の育成をめざします。

